

このお知らせは茨城県市町村職員共済組合が(株)JMDC に委託して作成しています。

あなたの健康に関する大切なお知らせ

薬剤の過剰な服用を防止し有害な飲み合わせを減らすことを目的に、今年度から受診状況・服薬情報を記載した本通知を始めました。ご自身の健康のために内容をご確認ください。

ポリ（複数の） Poly + ファーマシー（調剤） Pharmacy

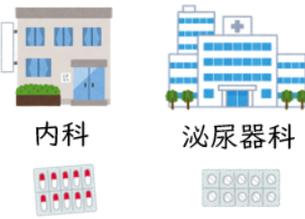
ポリファーマシーとは、たくさんの薬を飲んでいることだけではなく、薬の種類が多いことにより、相互作用によって有害事象のリスクが発生する問題につながる状態をいいます。また、不要な処方や過剰な薬の重複投与など、不適切な処方もポリファーマシーに含みます。

例1 持病へ影響のある薬が処方されるとき



脂質異常症に女性ホルモン剤が影響し血栓ができやすくなる

例2 飲み合わせの悪い薬が処方されるとき



相互作用で不整脈が悪化

例3 複数の医療機関から同じ効能の薬が処方されるとき



過剰服用で健康被害が発生

処方されたお薬を禁止するものではありません！！

医療機関等を受診した結果、必要であると診断された薬が処方されていると思いますが、既に服用している薬があることは医療機関等へ伝わっていますか？

この通知は、健康診断の結果や医療機関等の受診データから、各薬剤の効能を比べて、一緒に飲むと薬本来の効果が表れないなど、副作用の発生する可能性がある飲み合わせがあった場合に作成しています。

受診されている医療機関等へこの通知をご持参いただき、実際の健康状態に適した処方となっているかご相談をお願いします。

ポリファーマシーを防ぐには？

- 「お薬手帳」は1冊にまとめましょう
- かかりつけ医師、かかりつけ薬局を持ちましょう
- 薬が余っているときは、医師・薬剤師に相談しましょう



この通知については、当組合ホームページにも掲載しています。

<https://iba-kyo.com/>

